

平成 30 年度 第6回企画展

金峰山の地質

主催：熊本県博物館ネットワークセンター 協力：熊本博物館

金峰山周辺の山々は、地元の人々の生活の場であり、また、信仰の場でもありました。しかし、それらの山がかつて活動していた火山であるということは、あまり知られていません。

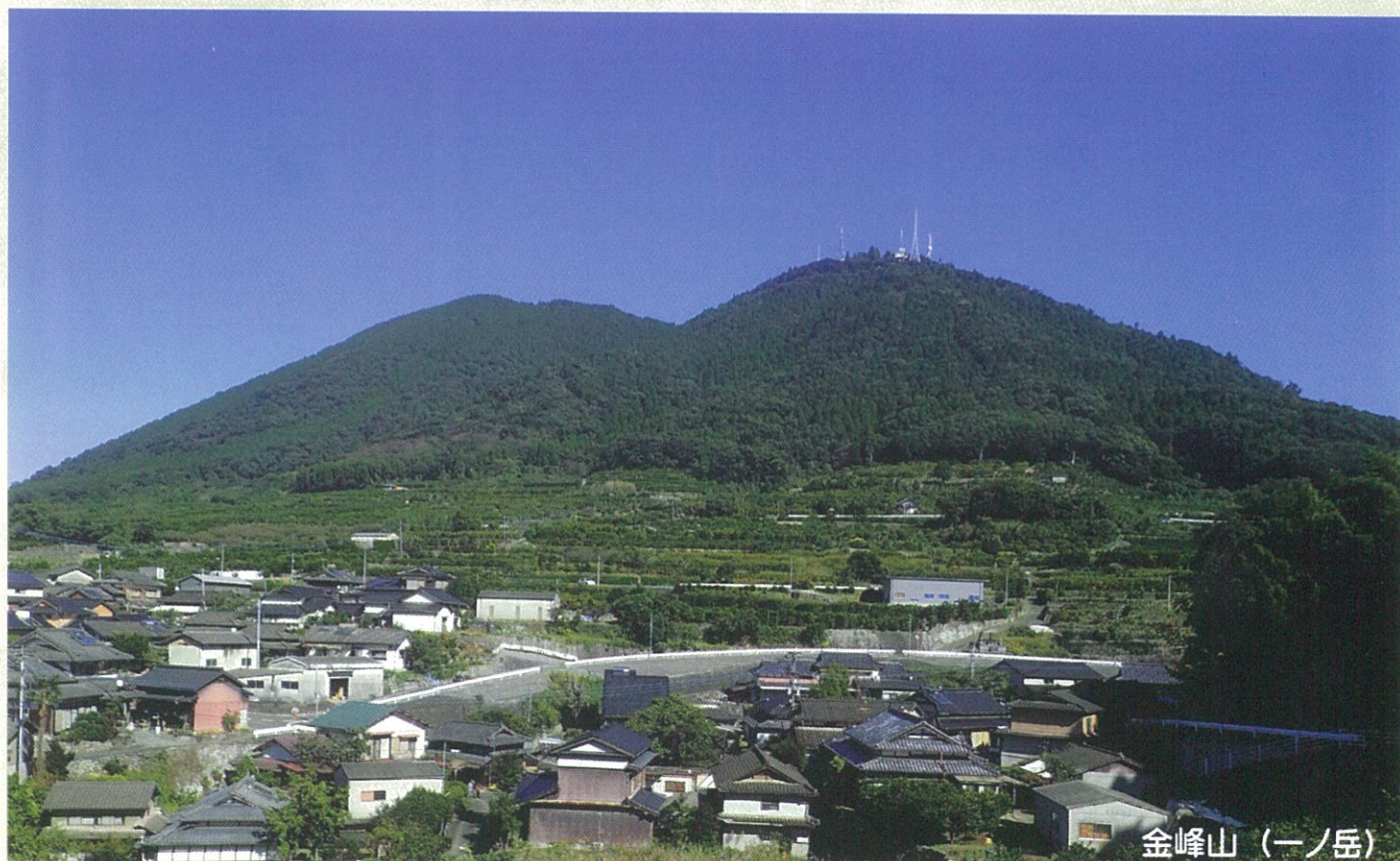
今回の展示では、金峰山とその周辺で採取した岩石を展示し、金峰火山の成り立ちについて紹介します。また湧水や資源などの写真も展示し、人々の生活との関連についても紹介します。

2019.3.26 (火) ~ 5.26 (日) 09:00 ~ 17:00

月曜日休館 (月曜日が祝日の場合はその翌日が休館日)

入館無料

※ 展示解説会を行います。詳細は裏面をご覧ください



金峰山 (一ノ岳)

熊本県博物館ネットワークセンター

宇城市松橋町豊福 1695 TEL 0964-34-3301

平成 30 年度第6回企画展 **金峰山の地質**

2019.3.26 (火) ~ 5.26 (日) 9:00 ~ 17:00 **入館無料**

月曜日休館 (月曜日が祝日の場合はその翌日が休館日)

展示解説会

【日時】 2019.4.28 (日) 10:30~12:00

【場所】 熊本県博物館ネットワークセンター展示室

※参加費無料。事前の申し込みは、必要ありません。

熊ノ岳 (二ノ岳・左) と三ノ岳 (右)

金峰山一帯の山は、火山噴火でできた岩石によって形成されています。展示では金峰火山の成り立ちとともにそれらの岩石を紹介します。



金峰山 (一ノ岳) をつくる安山岩
(約 20 万年前の溶岩)



熊ノ岳 (二ノ岳) をつくる安山岩
(三ノ岳の少し後に噴出した溶岩)



三ノ岳をつくる安山岩
(約 50 万年前の溶岩)



石神山の鱗珪石 (りんけいせき)

魚のうろこのような鉱物で、火山岩の隙間にできる結晶です。熊本県の「県の石」に選定されています。



湖の堆積物から産出した植物化石

化石が藍鉄鉱という青い鉱物に置き換わっています。



天水湖

金峰山一帯には湧水が点在しており、周辺に豊富な水を提供しています。

熊本県博物館ネットワークセンター

〒869-0524 宇城市松橋町豊福 1695
TEL 0964-34-3301 FAX 0964-34-3302
Eメール hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp
HP <http://kumamoto-museum.net/kmnc/>

公共交通機関での経路

(九州産交バス) 松橋バスターミナルより
宮原經由八代市役所行きに乗車、
「希望の里入口」バス停下車、徒歩3分
(JR) 松橋駅より約3km

